

2021年(令和3年)3月23日 火曜日



剣道

◆2020年度阿南支部錬成賞受賞者

賞者
林巧(阿南少年剣道教室)、甘利惟(新野少年剣道教室)、小原優翔(大野小剣道部)、大和希輔、奥津瑛太、曾谷唯人、渡川零、酒田百合愛、川野稔泰(以上那賀川剣道教室わかあひ会)、福本章也、山田稟、北村直路(以上那賀川少年剣道クラブ)、高嶺大翔、藤川創一郎、天羽龍慎、竹内咲綾、上田冬真(以上羽ノ浦剣道教室)

徳島新聞に見る戦いの跡

2021年(令和3年)3月28日 日曜日

地域総合 (34)

昨年の県高校総体代替大会剣道女子個人の部を制し、文部科学大臣特別賞を受けた富岡西高校(阿南市)3年の垣内菜々香さん(18)。「お世話になった人たちが喜んでくれて、優勝したという実感が湧いた」と振り返る。試合ではいつも力んで硬くなり、これまで優勝に縁がなかった。新型コロナウイルスの影響で長期間練習は休みに。再開後、手ぬぐいを口にまいてフェースシールドを着けるなどの感染対策にも苦労した。それでも「最

「継続は力」を大切に



後だからいい思い出し(県)では日本文学を専攻しよう」とリラックスしてする。夢は国語教師。臨んだのが功を奏した。「自分で限界を決めずに読書好き。夏目漱石や、続けていけば、いつかい森鷗外などの名著で近代の結果に結びつくことを文学の魅力に触れ、進学 伝えたい」と抱負を語る先の尾道市立大(広島県)。(高橋翼)

ひーぷる

PEOPLE

2021年(令和3年)4月13日

**あわー
スポーツ**

記録・情報はお客さまセンター
まで早めにお届けください。

電話 088 (655) 7231
FAX (0120) 333414
メール awaspo@topics.or.jp

参加した6年生男子(上)と6年生女子ら



剣道

◆阿南少年剣道主催6年生差を
会(白7白・阿南市武道館)
【男子】①松本泰和(木頭錬心
館)②大和精輔(那賀川剣道教室
館)③米富貴典(徳島少年剣道教室
館)④吉岡尊弥(徳島武館)⑤谷珠菜
(海部川剣道教室)



優勝者と表彰者

わかろ会)⑥林巧(阿南少年剣
道教室)⑦村輝(誠武館場)
【女子】①吉岡未採(徳島館)
②米富貴典(徳島少年剣道教室
館)③吉岡尊弥(徳島武館)④谷珠菜
(海部川剣道教室)

◆第6回日野川月間クラシリ大
会(3月27日・吉野川市立川島中
学校体育館)

▽小学低学年①山田朋弥(鴨島
少年剣道教室)▽同中学年の後藤
田みこと(山川修錬館)▽同高学
年の①中川通守(鴨島少年剣道教
室)▽中学①藏本諒海(川島剣道
スポーツ少年団)

▽男子①酒口りあ(鴨島
少年剣道教室)

【2020年度最優秀選手】小
学低学年 原田恵史(山川修錬
館)▽同中学年 後藤田みこと
(山川修錬館)▽同高学 中川
通守(鴨島少年剣道教室)▽中学
藏本諒海(川島剣道スポーツ少年
団)

▽女子①藤田歩(山川
修錬館)②近藤瑞太(上浦剣道教
室)③佐藤千夏(脇町中)④酒口り
あ(鴨島少年剣道教室)

2021年(令和3年)4月21日

杖で技繰り出す伝統武道

「杖道」県内普及へ部会



杖道の稽古に励む会員＝鳴門ソイジョイ武道館

県剣道連盟に発足 会員、稽古に励む

日本の伝統武道の一つで剣道、居合道と並び「三道」に位置付けられている杖道(じょうどう)を、徳島県内で普及、発展させようと、県剣道連盟に今月、杖道部会が発足した。1本の杖で多様な技を繰り出す形武道で、年

齢や性別に関係なく取り組めるのが特徴。大半の都道府県で実施されているが、徳島では行われていなかったため有志が立ち上げた。会員らは技の習得を目指し、稽古に励んでいる。

現在、会員は27、78歳の男性16人、女性1人で、ほとんどが剣道や居合道の経験者。部会発足後初の稽古会が17日に鳴門ソイジョイ武道館であり、県内最高級の腕前を持つ青木茂生(全剣連)に正式加盟した。用いる杖は長さ198センチ、直径2.4センチと気合を込めな

ら始まり、前後左右に体をさばり、太刀の攻撃をかわし、相手を制する技を出す。試合では、杖を持つ選手と太刀を持つ選手が交代で規定の技を演武し、礼法や姿勢の正しさを、打ち込みの強弱などを審判が判定して勝敗を決める。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止になったが、全国大会も毎年開かれている。

全剣連が統括する三道のうち、剣道と居合道は全都道府県で行われている。杖道は43都道府県で稽古会や講習会が開かれているが、徳島、香川、福井、栃木の4県では未実施だった。そのため徳島にも根付かせようと、全剣連理事の米倉滋・県剣道連盟副会長(66)が中心となって2019年度から数人で稽古を開始。徐々に参加者が増え、県連盟に部会の新設が認められた。今後毎月2、4回のペースで稽古を行い、昇級・昇段審査も受ける。米倉副会長は「左右の手足を使うので健康づくりにも向いている。武道経験者でなくても気軽に参加してほしい」と呼び掛け、青木部会長は「県内で杖道の普及、振興を目指したい」と話している。入会希望などの問い合わせは米倉さん、電話088(668)6660。(石津遼)

全国切符目指し

第61回 県高校総体

各競技の展望

第61回徳島県高校総合体育大会(県高体連、県教委主催、徳島新聞社など後援)は4日から4日間、県内各地で本格的に開かれる。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となったため、県総体の開催は2年ぶりとなる。今大会は32競技に37校の7888人が出場し、6月18日からの四国選手権(水泳を除く)や7、8月に福井、新潟、富山、石川など北信越地区で開かれる全国高校総体(インターハイ)の出場権を懸けて熱戦を繰り広げる。新型コロナウイルス予防のため、全競技を無観客で行い、選手の健康チェックも徹底させる。5月30日に終了した自転車競技を除き、競技別に有力校や注目選手、試合の見どころなどを紹介する。(運動部取材班)

男子 城北軸に混戦か 女子 富岡東がリード

剣道

17校が出場する男子団体は、1月の県新人大会を制した城北を準優勝の富岡西、4強入りした鳴門渦潮、阿南光が追う。徳島文理、川島も力があり、混戦になる可能性も

ある。個人は四国新人大会準優勝の松本(城北)、県選手権準優勝の立石(阿南光)、同3位の谷川(城北)や元(鳴門渦潮)ら有力だ。9校で争う女子は、3月の全国選抜大会で8強入りの富岡東が抜けている。県新人大会準優勝の徳島文理、富岡西、川島、城北が追う。個人は2年連続で四国新人大会3位の塚田、県選手権優勝の岡崎、同3位の山室、嶋田の富岡東勢の争いとなりそうだ。【日程】5日男女団体▽6日男女個人



4強入りを目指す川島の剣道部員

富岡東 35度目の女王

男子は城北2年連続

剣道

〔富岡東〕

徳島市立 鳴門渦潮3〇〇鳴門 阿南光、鳴門渦潮2―富岡西
 川島4〇海部、富岡東2代表 順位決定戦 富岡西1(代表勝) 小田 1 西谷
 勝2の鹿田 富岡西4〇城 1 阿南光 永演 メイコ 上垣
 〔男子〕団体1回戦 城東3 阿南光〇勝 鳴門渦潮 城 北 1〇〇 鳴門渦潮
 2徳島北之國 城北3 1城 技 阿南光〇勝 鳴門渦潮 城 北 1〇〇 鳴門渦潮
 東 徳島技2 徳島文理 脇 2〇川島 富岡西4〇富岡東 〇添木 メイ 四宮
 町2 阿南高専 阿南光3 〇 宮田 1 米田



女子団体決勝・富岡東対富岡西 大将戦で勝ち、優勝を決めた富岡東の岡崎(左)
 藍住町民体育館

最後に地力発揮

富岡東

頼れる主将の一振り
 が、嫌な雰囲気振り払
 った。女子の富岡東は決
 勝で苦しみながらも、最
 後の最後に地力を発揮
 7連覇を果たした。
 富岡西との決勝は1
 1のまま大将戦へ。岡崎
 主将は開始1分余りで相
 手のコテを返してメン
 先取。終盤には本目の
 メンを決める。チーム
 メートから一斉に拍手が
 湧き起した。
 初戦で大将戦を落とす
 など、この日調子がいま
 ひとつだった岡崎。長井
 監督から「得意の飛
 ひ込みメンに固執せず、
 もっとゆとりを持って」と
 言われ、決勝に臨んだ。
 緊迫の大一番で前の助
 言を実践してみせたのは
 さすが。二つのメンは狙

松本 1 谷本
 〇城 阿南光 徳島東3
 1城 川島 不勝 徳島北、
 富岡西2 〇阿南光 徳島文理4
 1 鳴門渦潮 準決勝 富岡東4
 〇川島 富岡西3 〇徳島文理
 〇順位決定戦 川島2 1 徳島文
 理 〇決勝
 富岡東2 1 富岡西
 嶋田 1 メ 藤原 〇
 山田 ッド 小川
 塚田 メイ 福本
 岩本 1 中山
 岡崎 メイ 松葉
 積極性 心掛ける
 〇男子で2連覇を達
 成した城北は、2年生の
 先鋒(せんぽう)・添木
 一が写真右側が積極的な動

つたのではなく、「ゆと
 りを持って」と、反射
 的に体が動いたという
 渾身(こんしん)の撃
 だ。「迷惑を掛けていた
 ので、どっかかしたと
 思っていた」と岡崎は汗
 を拭った。
 富岡西に先行を許す中
 で、「絶対に取り返す」
 と強い気持ちで臨んだ中
 堅・塚田の奮闘も見逃せ
 ない。相手の竹刀がさら
 ついた瞬間を見計らって
 の引きメンで、逆転勝利
 のお膳立てをした。
 優勝した中村学園女子
 (福岡県)と互角の勝負
 を展開した富岡東。2年
 ぶりの全国総体へ向け、
 岡崎は「目標は日本1」
 と言いつつ切った。
 (加治陽)



きでチームに流れをもた
 らした。
 同じ徳島中出身で、昨
 年3年生だった大空航己
 さんから「流れをつくる
 のが先鋒
 のと教員
 と役割
 れ、積極
 性を心掛
 けたとい
 う。決勝
 では、苦
 手とする
 上段の構
 えの選手に1本勝ちし、
 「うれし」と満面の笑
 み。大石監督は「自分か
 ら攻めるスタイルが身に
 付いてきた」と目を細め
 た。
 添木がつくった流れを
 しつかり引き継いだのが
 大将の松本主将。同左。
 準決勝の阿南光戦では、
 三たび延長された代表戦
 を制した。1年生の時以
 来となるインターハイに
 向け、「今回は自分がリ
 ーダーとして引っ張らな
 い」と意気込んだ。

なぎなた
 (鳴門西)
 〇個人 森海陽 大森 林
 〇団体 〇開門(森 大森 福
 永 林 野口、中尾、多田)
 所属はいずれも鳴

剣道
 (藍住町民体育館)
 〔男子〕個人 準々決勝 富岡(阿
 南光) 〇 松本(城北) 〇 松田
 (富岡西) 〇 添木(城北)
 米田(鳴門渦潮) 〇 富岡
 1 上 富岡西 〇 準決勝 富岡 〇
 1 松田、若木 〇 米田
 〇 決勝
 立 石 〇 富 田
 〔女子〕個人 準々決勝 松葉
 (富岡西) 〇 メイ 吉川(徳島文
 理) 〇 山田(富岡東) 〇 小島
 (富岡東) 〇 平田(富岡西) 〇 メ
 1 藤原(富岡西) 〇 塚田(富岡
 東) 〇 〇 藤原(城北) 〇 準決
 勝 山田メイ 松葉 塚田メイ
 〇 決勝
 塚 田 〇 山 〇 田

2021年(令和3年)6月28日



剣道

◆第48回鳴門市剣道連盟少年大会(6月5日・鳴門市剣道場)
 【小学】低学年①丹羽拓(鳴門市光武館)②橋本愛美(鳴門市光武館)③橋原暎人(鳴門市光武館)④紅崎尚輝(鳴門市光武館)
 【中学】男子①村翔(鳴門一中)②柳田周作(鳴門一中)③加藤雅希(大森中)④佐藤敬(大森中)⑤女子①森長来(鳴門一中)②後藤彩祿(鳴門一中)③西村浩(鳴門一中)



上位入賞者ら

寧▽高学年①矢野大馳(大森錬成館)②橋本実咲(鳴門市光武館)③沖野(鳴門市光武館)④田心音(鳴門少年剣道教室)

徳島新聞 2021年(令和3年)6月15日 火曜日

剣道

小学生 佐古剣道クラブ
 中学生 鳴門市光武館

V

剣道の第3回徳島県道場連盟少年大会が5月23日、鳴門ソイヨイ武道館で第55回全国道場少年大会と全国道場少年選手権大会の徳島県予選を兼ねて行われた。団体は小学生の部で佐古剣道クラブが優勝、中学生の部は鳴門市光武館道場が制した。佐古剣道クラブと鳴門市光武館道場は全国大会(7月28、29日・大阪市)、個人各クラスの優勝者は全国選手権大会(9月19日・島根県)にそれぞれ出場する。

【団体】小学生の部①佐古クラブA(先鋒①岸田敏春 中堅①眞貝もも、大将①谷本遙)②徳武館A▽中学生の部①光武館B(先鋒①秋山鈴奈、中堅①後藤彩祿、大将①森長来)

【個人】小学男子①大和智哉(徳武館)②徳原瑞崎(佐古クラブ)③谷本遙(佐古クラブ)④柏原健人(徳武館)▽小学女子①眞貝もも(佐古クラブ)②橋本実咲(光武館)③沖野(光武館)④豊田葉菜(光武館)▽中学男子①西村翔(光武館)②柳田周作(光武館)③多田健人(徳武館)④鈴木聖二(松和会)▽中学女子①後藤彩祿(光武館)②森長来(光武館)



個人戦の優勝者



団体中学生の部優勝の鳴門市光武館B



団体小学生の部優勝の佐古剣道クラブA

③豊田葉々(佐古クラブ)④谷本真智子(佐古クラブ)

2021年(令和3年)6月20日

(春野総合運動公園体育館)
 【女子】団体予選リーグA組④
 富岡西1分け2敗▽B組④川島3
 敗▽C組④徳島文理3敗▽D組①
 富岡東3勝
 ▽決勝トーナメント準決勝 富
 岡東3―1琴平
 ▽決勝
 帝京五 3―0 富岡東
 ○岡田 ムー 藤井
 ○梶岡 ムー 岩本
 ○小田 ムー 山田
 荒木 塚田
 乾 岡崎
 帝京五は2年連続11度目の優
 勝。
 ▽個人準々決勝 大西(琴平)
 コー塚田(富岡東)、荒木(帝
 京五) ムー松葉(富岡西)、岡
 田(帝京五) ムー山田(富岡東)
 ▽決勝 大西コ―岡田

剣道

2021年(令和3年)6月21日

(春野総合運動公園体育館)
 【男子】団体予選リーグA組①
 鳴門渦潮3勝▽B組①富岡西3勝
 ▽C組①城北2勝1分け▽D組④
 阿南光3敗
 ▽決勝トーナメント準決勝 富
 岡西3―1鳴門渦潮、高知4―1
 城北
 ▽決勝
 高知 3―0 富岡西
 寺村 田上
 宇賀 ムー 岩谷
 山崎 ムー 三好
 川田 コー 橋本
 ○弘田 ムー 松田
 高知は3年ぶり10度目の優勝。
 ▽個人準々決勝 松本(城北)
 ムー松田(富岡西) ▽準決勝
 片山(新田) コー松本 ▽決勝
 片山 ムー 村上(新田)

剣道

富岡西準優勝



前期 第2日

2021年(令和3年)7月15日

準特選



「先手必勝」 薩摩 弘則(富岡西3年)

県高校総体

写真コンクール



男子決勝・徳島対那賀川 中堅戦で攻め込む徳島の蔵本(右)
＝鳴門ソイジョイ武道館 (山田旬撮影)

徳島 4年ぶり栄冠

女子是那賀川2年連続

2018年7月22日

剣道

【男子】団体1回戦
 入田、松茂3-2、内田、岩本
 島5-0半田、大塚3-2鳴門、大付2回戦、徳島4-0藤住、東羽浦5-0勝浦、城内2-1板野、園府4-0北島、石井5-0江原、山城4-0八木、土成4-1徳島文理、小松島5-0松茂、阿南4-1鳴門、城東4-1奥立川、鳴門3-1木頭、驚敷5-0脇町、阿波5-0三好

【女子】団体1回戦
 那賀川3-1那賀川、徳島3-1岩本、三宅、原、蔵本、木下、和泉、篠原、下、平松、片岡、木下、橋本、岡田、木下、橋本、安子、団体1回戦、奥立川3-2驚敷、小松島5-0北島、江原5-0三好、羽浦4-0城東、勝浦5-0半田、板野2-1

【男子】決勝戦
 那賀川3-1那賀川、徳島3-1岩本、三宅、原、蔵本、木下、和泉、篠原、下、平松、片岡、木下、橋本、岡田、木下、橋本、安子、団体1回戦、奥立川3-2驚敷、小松島5-0北島、江原5-0三好、羽浦4-0城東、勝浦5-0半田、板野2-1

堅実な試合運びで主導権 徳島

昨年の県新人大会と同日の言葉通り、中堅の蔵本主将は打ち込みを交わすことから「引き面」に続き、つばせり合いから胴を決めて流れを確実にした。副将は敗れたが、本数差で優勝が決まった。大将の片岡は相手の隙を突くドウを決め、勝利に締めくくった。

新チーム発足後、全中制覇を目標に腕を磨いてきたといい、橋本、蔵本、片岡は全勝するなく、稽古の成果を存分に発揮した。松本監督は「個々の良いところが出せた」と振り返り、試合後は選手一人一人の頭をなでながら「頑張りをたたえた」。

県大会はあくまでも通過点と強調する蔵本。「全員が底力を出し、勝ち負けが仕掛けたら受けたりした後に勝った。しっかり課題を克服する」と心技体の錬成を誓った。(石川浩行)

込む接戦となった女子団体決勝は、那賀川が地方を發揮して逆転勝ちした。1勝同士で迎えた副将戦で甘利が得意のコテで勝ち越し、「練習してきたことを出し切る」と臨んだ大将の高嶋が引き分けに持ち込んだ。連覇を成し遂げた選手たちは涙を流して喜び合った。控えに回った内田美主将は写真の応援も力を与えた。中学で剣道を始めた唯一の3年生として部をけん引。この日は2回戦と準々決勝に登場し、1勝1分けでチ





2021年(令和3年)7月24日

第 7 日

剣道

(鳴門シヨイ武道館)
 【男子個人準々決勝】片岡徳島×1 桑原(羽ノ浦)、藏本(徳島)×1 西岡(木頭)、橋本(那賀川)×1 櫻原(小松島)、楠本(徳島)×1 前田(土成)
 ▼準決勝 片岡ドコ 藏本、橋本コ 楠本 ▼代表決定戦 藏本コ×1 楠本
 ▼決勝
 片岡×1 橋本
 【女子】個人準々決勝 内田(那賀川)×1 櫻原(小松島)、鈴江(木頭)×1 川野(徳島)、秋山(徳島文理)×1 甘利(那賀川)、高嶋(那賀川)×1 横山(石井) ▼準決勝 鈴江×1 内田、高嶋×1 秋山
 ▼決勝
 鈴江ド 高嶋

男子 白木 (名西支部)
 女子 山田 (富岡東高)

全日本剣道県予選

剣道の第69回全日本選手権・第60回全日本女子選手権徳島県予選会は23日、県立中央武道館で行われ、14人で争った男子は白木恒一郎(名西支部)、8人が出場し

た女子は山田莉子(富岡東高)が優勝した。白木は全日本選手権(11月3日・東京都)、山田は全日本女子選手権(9月19日・奈良県)の代表権を得た。

【男子】準々決勝 白木恒(名西支部)×1 大山(徳島大)、西田(徳島支部)×1 日和田(植支部、竹内(鳴門支部)×1 大石(阿南支部、森(徳島支部)×1 山井(阿南支部) ▼山田
 ▼決勝
 山田 田コ 山室
 【女子】1回戦 岩本(富岡東高)×1 坪井(環太平洋大)、山田(富岡東高)×1 西井(鳴教大)、山室(富岡東高)ド 松葉(鳴教大)、塚田(富岡東高)×1 藤井(富岡東高) ▼準決勝 山田×1 岩本、山室×1 塚田

2021年(令和3年)8月22日

全国中学校
体育大会
第5日

れも決勝トーナメントに進めなかった。体操女子は須原渾音(鳴門)が個人総合で40位だった。

徳島男子は
決勝ト逃す

剣道

全国中学校体育大会(全中)第5日は22日、川崎市とろきアリーナなどで行われ、剣道男子団体の徳島はグループトーナメント1回戦を突破したが、2回戦で九州学院(熊本)に敗れ、決勝トーナメント進出はならなかった。パドミントン女子個人ダブルスの佐藤西・高橋組(徳島)は1回戦で敗退。相撲個人の髙原史恩(石井)、長谷川奨(阿南)はじ

徳島1	東(宮城)
橋本メー	渡邊
三宅	清野
蔵本	早坂
徳原	小笠原
片岡	秋葉
九州学院	徳島
竹本	30
光菜出	橋本
山本	楠本
山元	本
河野	岡
△反	△
△山	△
△野	△

2021年(令和3年)8月23日

全国中学校
体育大会
第6日

剣道

片岡基朗	星改汰
(徳島)	山梨・玉
依田丞史	橋本葵
山梨・玉	(那賀)
△3回戦	△3回戦
片岡基朗	庄子拓磨
(徳島)	(新橋・坂井輪)
△4回戦	△4回戦
土田剛士	片岡基朗
秋田・矢	(徳島)
東海林結那	(女)個人自戦
子(那賀)	高嶋桜子
村山朝日	(那賀)
△自戦	△自戦
小林真緒	鈴江海音
(神奈川)	(木頭)
甲	△

2021年(令和3年)8月23日



◆2021年度阿南中央ローグ1クラブ杯喜喜祭少年大会兼徳島県ホーツ少年大会阿南市選考会(7月25日、阿南市武道館)【団体】小学低学年①徳島剣清塾A(先鋒II河田淳紀、中堅II水口明貴、大将II棚橋斗)②阿南少年剣道教室③那賀剣道教室

剣道

【個人】新人主①平田妃奈(那賀川剣道教室わかあひ会)②平田紗愛(徳島剣清塾①)③原徳香徳島剣清塾③④廣瀬将也(大野小剣道部)⑤小学1年①大西潤(那賀川剣道教室わかあひ会)②野村拓未(徳島剣清塾)③水口担奈(徳島剣清塾)④亀井結心(徳島剣清塾)⑤2年①福田真(那賀川剣道教室わかあひ会)②高橋明里(徳島剣清塾)③鹿島凛子(徳島剣清塾)④大松谷澤太郎(那賀川)

2021年(令和3年)9月20日

山田(富岡)は
1回戦敗退

全日本女子剣道 剣道の第60回全日本女子選手権は19日、奈良県橿原市のシエイクトアリーナ奈良で行われ、徳島県の山田莉子3段(富岡高)は1回戦で敗退した。妹尾舞香4段(鹿屋体大)が2度目の出場で初優勝を果たした。妹尾は連決勝で川合芳奈3段(筑波大)を下し、決勝では志藤綾子5段(伊田エクス)からメンを一本決めて勝った。新型コロナウイルスの影響で、警察官の選手は予選から出場を辞退した。

富永	山田
(東京)	(富岡)
△決勝	△
妹尾	志藤
(鹿屋体大)	(伊田)
△	△

2021年(令和3年)11月8日

剣道

◆第24回西杯争奪少年大会(10月10日・鳴門アミナリニューホ

ル)



小学高学年の部優勝の阿南少年剣道教室



小学低学年の部優勝の徳島剣清塾



中学女子の部優勝の城ノ内・木頭



中学男子の部優勝の那賀川

小松島少剣クラブ③鳴門市光武館道場③徳島少年剣道教室▽高学年①阿南少年剣道教室②小松島少剣クラブ③右井少年剣道クラブ③徳島少年剣道教室
【中学】男子①那賀川(徳島)②鳴門第一③小松島④女子①城ノ内・木頭の木頭心館・海部川剣道教室②鳴門第一③那賀川A

2021年(令和3年)11月25日

剣道の第40回徳島県大
学選手権山杯大会は23
日、徳島市の徳島文理大
体育館剣道場で男女の個
人戦が行われ、男子は松
本喜起(徳島大蔵本)、

松本(徳島大蔵本)と
田村(四国大)優勝

県大学剣道

女子は田村真尋(四国大)が優勝した。

【男子】準々決勝 森(徳島大蔵本)ドメー 矢田(徳島大蔵本)、片岡(徳島大蔵本)メメー 兼近(鳴教大)、小山田(徳島大蔵本)メメー 諸岩(徳島文理大)、松本(徳島大蔵本)メコメー 小島涼(徳島大蔵本)メメー 進法勝(片岡)メメー 森、松本メメー 小山田

▽決勝

松 本コメー 片岡
【女子】準々決勝 森川(鳴教大)メメー 藤井(徳島大蔵本)、福山(四国大)メメー 村本(徳島大蔵本)、北林(徳島大蔵本)メメー 藤藤(徳島大蔵本)、田村(四国大)メメー 阿部(徳島文理大)メメー 進法勝 福山メメー 森川、田村メメー 北林

▽決勝

田村メメー 福山

男女各6部門 代表決まる

剣道

部道府県対抗県予選 剣道の第70回全日本都道府県対抗優勝大会と第14回同女子優勝大会の出場を懸けた徳島県予選会は12日、鳴門ソイジョイ武道館で行われ、男女各6部門の代表が決まった。男子は次鋒(じほう)・河野寛之(河野寛之(中部大)、5将・松本好史(小松島支部)、中堅・白木恒一郎(名西支部)、3将・山本義征(警察支部)、副将・日和田慈海(麻植支部)、大将・玉田晋作(徳島支部)となった。女子は中堅・長地千景(阿南支部)、3将・前田奈々枝(阿波支部)、大将・竹内佳代子(鳴門支部)が代表に。出場1人の部門は次鋒・山室愛子(徳島支部)、5将・松本美紗樹(警察支部)、副将・金野裕美(徳島支部)に決まった。

男子は次鋒(大学生) 決勝 河野寛之(中部大) 松本好史(徳島大) 5将(18歳以上35歳未満) 1 関根 前田 丹生支部 2 井上 阿南支部、高木 小松島支部 3 矢野 極野支部、西條 名西支部 4 佳友 麻植支部 5 準決勝 松本 小松島支部 6 ドメー 前田 西條 高木

女子は次鋒(大学生) 決勝 山室愛子(徳島支部) 5将(18歳以上35歳未満) 1 関根 前田 丹生支部 2 井上 阿南支部、高木 小松島支部 3 矢野 極野支部、西條 名西支部 4 佳友 麻植支部 5 準決勝 松本 小松島支部 6 ドメー 前田 西條 高木

男子は中堅(大学生) 決勝 長地千景(阿南支部) 1勝1敗 2勝(長地) 阿南支部 1勝1敗 3 井口(極野支部) 2敗 4 大将(50歳以上) 決勝 竹内佳代子(鳴門支部) 玉田晋作(徳島支部) 副将 山本義征(警察支部) 11 人の争い(お互い「お互い」を制し)

男子3将 山本義征(警察支部) 11 人の争い(お互い「お互い」を制し)

女子中堅(大学生) 決勝 長地千景(阿南支部) 1勝1敗 2勝(長地) 阿南支部 1勝1敗 3 井口(極野支部) 2敗 4 大将(50歳以上) 決勝 竹内佳代子(鳴門支部) 玉田晋作(徳島支部) 副将 山本義征(警察支部) 11 人の争い(お互い「お互い」を制し)

女子中堅・3将(30歳以上) リーグ戦(阿波支部) 2勝(長地) 阿南支部 1勝1敗 3 井口(極野支部) 2敗 4 大将(50歳以上) 決勝 竹内佳代子(鳴門支部) 玉田晋作(徳島支部) 副将 山本義征(警察支部) 11 人の争い(お互い「お互い」を制し)

女子中堅・3将・前田 奈々枝(リーグ戦2連勝) 決勝は「狙っていた」と言うように、相手が出てくる瞬間を見逃さず鮮やかなゴテで先取。その後も前に出る姿勢に徹しながらも、冷静に相手の反撃に対処して1本勝ちした。

冠に笑顔を見せた。決勝は「狙っていた」と言うように、相手が出てくる瞬間を見逃さず鮮やかなゴテで先取。その後も前に出る姿勢に徹しながらも、冷静に相手の反撃に対処して1本勝ちした。

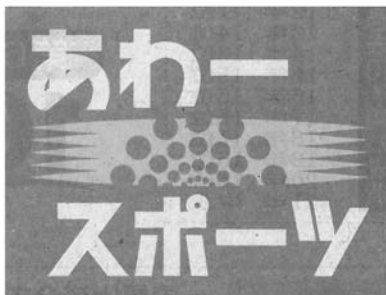
最後まで攻める ○：逃げたら負け。決勝もその気持ち忘れず、最後まで攻め抜いた。7人で争った5将戦を制した松本(小松島支部)は「自分から積極的に仕掛けていくことができた。優勝はうれしい」と初の栄冠を話した。

現在、四国電力で担当の営業業務に多忙な中、週1回、小松島市で尊敬する師範の指導を受けている。全国大会に向け、29歳の社会人剣士は、相手を崩して打ち込む練習をして、勝利でチームに貢献したいと話した。



男子5将戦決勝で果敢に攻め込む松本(右) 鳴門ソイジョイ武道館(岡野将大撮影)

2021年(令和3年)12月13日 月曜日



剣道

◆清原杯争奪第66回県下大会 10月31日、11月3日・阿南市立新野中学校ほか

【小学】小松島少剣クラブ先鋒 西尾育真、次鋒 原瑛大、中堅 川添将義、副将 橋本愛生、大将 上村優亜、補員 平井大陽、殿川鉄心、②新野教室、③阿南教室、③徳島剣道塾
 【中学】男子 ①那賀川(先鋒 岩本響輝、次鋒 大和優真、中堅

原那史、副将 尾畑涼月、大将 平松政樹、補員 黒崎蒼太、稲田裕亮、②徳島 ③城ノ内 ③阿南
 ▼女子 ①那賀川(先鋒 内田こころ、次鋒 山本実加子、中堅 柏原あこ、副将 甘利慧、大将 高嶋核子、補員 濱田心愛、吉岡未徠、②徳島文理 ③鳴門第一 ③国府

城北
 ▼女子 ①富岡東(先鋒 鳥澤明未、次鋒 小島理奈、中堅 平田大和、副将 嶋田優月、大将 谷村七海、補員 坂野陽菜、村田七菜、②富岡西 ③城北 ③阿南光
 【一般】男子 ①阿南支部(先鋒 濱田諒、次鋒 井上稔大、中堅 大石真也、副将 敦賀晋平、大将 林洋行、補員 大城健作、②徳島支部 ③徳島大学 ④小松島支部
 ▼女子 ①阿南支部(先鋒 長谷川愛実、中堅 長地千景、大将 阿井恵子、②徳島大学 ③小松島支部

2021年(令和3年)12月20日 月曜日

剣道

◆第16回吉野川市民体育祭(11月21日・美郷ふるさとセンター)体育剣道教室B
 【団体】①上浦剣道教室A ②吉野川少年剣道教室A ③吉野川少年剣道教室B

【個人】木刀による剣道基本技稽古法 ①片岡寛之 ②後藤田正之 ③山出直樹 ④森本伸子 ▼小学2年生以下 ①北川心都 ②山出朋弥 ③原田恵史 ④森本貴介 ▼3・4年 ①三好琥珀 ②片岡遼大 ③山出直弥 ④高居湧大 ▼5・6年 ①三木琉真 ②後藤田みさと ③近藤瑠太 ④坂東真帆 ▼中学男子 ①藏本望海 ②四宮真一郎 ③佐藤圭悟 ④七條隼 ▼同女子 ①前田優莉 ②正木七菜 ③佐藤優多 ④阿部花南 ▼高校男子 ①小原将暉 ②海部樹 ③野尻壮馬 ④七條樹 ▼同女子 ①伊丹千尋 ②坂東皇夢 ③尾方暖心 ④兼松優那 ▼一般 ①鳴瀧朝希 ②花川智彦 ③本間佑太郎 ④三好延年



上位入賞者ら

2022年(令和4年)1月10日



1・2年の上位入賞者ら



5・6年の上位入賞者

◆2021年度廣門市市民体育祭
 (1月27日・鳴門市剣道)
 【小学】毎年〇徳田菜(鳴門市光武) 〇藤原人(鳴門市光武) 〇橋本実(鳴門市光武) 〇高学年〇矢野大馳(大塚練成) 〇橋本実咲(鳴門市武越) 〇吉水百花(鳴門教室)
 【中学】男〇吉田天晴(鳴門第) 〇佐藤誠之介(天麻) 〇清水悠成(天麻) 〇宇〇西村権(鳴門第) 〇大塚仁葉(鳴門第) 〇山根梨(鳴門第)
 ◆第4回看楓杯争奪大会(1月23日・那賀川スポーツセンター)
 【団体】小学1・2年の徳島剣道連(先鋒) 〇高橋明真(中堅) 〇鹿島優斗(大将) 〇岩瀬時(〇和由馬クラブ) 〇白根心葵(那賀川教室) わかあゆ会
 〇3・4年の徳島剣道連(先鋒) 〇河田純(中堅) 〇水口朝貴(大

塚練成) 〇阿南教室 〇日
 〇5・6年の阿南教室A(先鋒) 〇西岡英士(中堅) 〇澤崎大將(阿井連) 〇小松少剣(ラブラ) 〇徳島剣道A(阿南教室)

3・4年の上位入賞者ら



上位入賞者

2022年(令和4年)1月18日



1・2年の入賞者



5・6年の入賞者



3・4年の入賞者

◆遠征争奪第38回新野少年錬成大会(12月9日・阿南市立新野中学校)
 【個人】小学1年の野村拓未(徳島剣道) 〇山原彰(鴨島教室) 〇長原真(新野教室) 〇赤嶺凌翔(徳島至誠) 〇若尾詩翔(徳島剣道) 〇高橋明真(徳島剣道) 〇本貫介(鴨島教室) 〇大塚仁葉(那賀川教室) わかあゆ会 〇3年の水口朝貴(徳島剣道) 〇平田登寿(徳島剣道) 〇大西光(那賀川教室) わかあゆ会 〇羽城琴那(那賀川教室) わかあゆ会 〇4年の河田厚紀(徳島剣道) 〇山ノ井夏希(那賀川教室) わかあゆ会 〇小島陽斗(大野小剣

剣道

道部) 〇川添大義(小松島少剣クラブ) 〇5年の河井生(徳島剣道) 〇水口新汰(徳島剣道) 〇尺長紗和子(新野教室) 〇鹿島大雅(徳島剣道) 〇6年の阿井連(阿南教室) 〇三木瑠真(吉野川教室) 〇上村徳亜(小松島少剣クラブ) 〇金澤悠翔(阿南教室)

